

令和3年度政務活動報告書（会派用）

会派名 自由民主党  
 代表者名 岡部 恒司



政務活動テーマ	活動内容
<p>市政推進のための調査研究</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止の推進</p>	<p>仙台市を取り巻く環境は少子高齢化の急速な発展とともに急速に進展する人口減少の時代に加え、未だ収束に至っていない新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、子育て支援や不登校、ヤングケアラーなどの子供を取り巻く社会問題の対策のほか、気候変動による豪雨や地震、自然災害への防災・減災対策、落ち込んだ地域経済観光分野を立て直すための「経済観光の回復」「市民生活・教育・福祉の充実」「防災環境都市として災害に強いまちづくり」の各分野に重点を置き、本市の将来にわたり持続可能な発展と市民が幸せを実感できるまちづくりを目指し、私達会派自由民主党は重点課題として以下の項目を掲げ調査研究を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種体制の充実、飲食業をはじめとする事業者支援財政措置や事務・権限のあり方等に関する調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●受診相談体制の充実をはじめ PCR 検査体制の効率化、拡大に関する調査</li> <li>●確実なワクチン接種の措置と安定供給に向けた柔軟な実施方法に関する調査</li> <li>●医療人材の確保など感染症対策等に関する取り組みの再構築と支援交付金等の財政措置充実に関する調査</li> <li>●中等・軽症患者の宿泊療養施設へのスムーズな受け入れ態勢や疫学調査体制の充実に関する調査</li> <li>●休業要請に応じた事業者の協力金のあり方や関連するサービス業関連事業者等への支援拡充に関する調査</li> <li>●経営困難となっている中小企業への独自融資制度やテレワーク導入助成等のデジタル化の積極的推進の調査</li> <li>●コロナ禍における雇用の維持と事業継続促進に関する調査</li> <li>●飲食、宿泊、文化芸術等への事業継続に向け、アフターコロナを見据えた市民生活、経済的支援策と整備に関する調査</li> <li>●GOTOイベントや商店街割増商品券などの地元景気対策の充実に関する調査</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■全世代型社会保障の充実</p>	<p>少子高齢化が進む中、「子どもを産み育てやすい社会」「介護」の問題に対し、良好な子育て環境づくりを進め、国が進める幼児教育の無償化に伴い、未就学児の健やかな学びと、安心して子育てできる環境の整備、高齢者福祉の充実にも取り組むなど、「全世代型社会保障」の実現に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●待機児童解消に向けた幼保連携による環境整備拡充について調査研究</li> <li>●処遇改善による人材不足対策や質の確保の取り組み、幼児教育の充実促進について調査研究</li> <li>●妊娠、出産から子育て、また、一体的支援に関する体制整備の構築に関する調査研究</li> <li>●児童センター職員の充実など地域子育て支援強化について調査研究</li> <li>●NPO等による学習・生活サポート支援や、子供食堂の子供の貧困対策の推進について調査研究</li> <li>●介護サービス基盤と地域包括ケア充実による地域での支え合いに関する調査研究</li> <li>●障害者の就労支援体制づくりと障害者理解の促進について調査研究</li> <li>●医療や救急体制の充実など市民の健康増進体制づくりについて調査研究</li> <li>●保育所・幼稚園・放課後児童クラブ等におけるDXの推進についての調査</li> </ul>
<p>■市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進</p>	<p>自然災害等の様々な脅威から市民の生命と財産、生活を守り、防災・減災に戦略的な取組み、新型コロナウイルス感染予防をはじめとする公衆衛生対策、防犯対策や交通安全、空き家対策等に対する以下の調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●豪雨等をはじめとする災害時の即応の対応など、関連する法整備の推進に関連した調査研究</li> <li>●東日本大震災の被災者への支援と復興の完遂について調査研究</li> <li>●災害時の情報連絡体制の強化に関する調査研究</li> <li>●大震災の経験の伝承と防災環境都市としての発信について調査研究</li> <li>●復興事業の進捗に対応した国からの財源措置等について調査研究</li> <li>●消防団の充実強化、デジタル化に関する調査研究</li> <li>●空き家対策など市民の安全・安心の拡充について調査研究</li> </ul>

※この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■ 確かな教育の確立と次世代育成策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無電柱化を含む道路インフラの局所対策への調査</li> <li>● 個別避難計画の作成など災害対応のデジタル化の推進への調査</li> <li>● 改正災害救助法等の実施や対応に関する調査研究</li> <li>● 通学路の点検を踏まえた安全確保に関する調査研究</li> </ul> <p>子どもたちがたくましく生き抜く力を育み学力向上に向けた取り組みといじめ問題への対応、特別支援教育などの教育を取り巻く諸課題に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供・子育て支援の新制度である認定こども園等の有効な活用と事業者との連携に関する調査研究</li> <li>● 教職員定数をはじめ、指導手法や指導体制の充実など学校向上策の推進について調査研究</li> <li>● さらなる少人数学級の拡大推進について調査研究</li> <li>● 幼保小連携の促進により未就学児接続への取り組みについて調査研究</li> <li>● 学校施設や ICT など良好な教育環境づくりについて調査研究</li> <li>● いじめ問題の根絶に向けた取り組みの強化について調査研究</li> <li>● 個別最適な学びを実現するための GIGA スクール構想推進への調査</li> <li>● 不登校の未然防止と民間フリースクールの連携、更に全中学へのステーション設置の促進への調査研究</li> <li>● コミュニティ・スクールの更なる推進への調査研究</li> <li>● 就学機会が失われた方々のための公立夜間中学の早期開設への調査研究</li> <li>● 特別支援教育(学級)の推進の充実について調査研究</li> <li>● 社会教育施設の機能強化など生涯学習の充実について調査研究</li> </ul>
<p>■ 地域経済の活性化と経済政策の更なる推進</p>	<p>市民の生活や福祉、まちの魅力と活力の向上を支えるための基盤づくりと地場産業・中小企業の活性化や起業促進、交流人口の拡大、都市型の農業づくりなど、地域経済政策を加速させ、力強い雇用と消費を実現する為、以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 産学官連携等による地場産業・ものづくり産業の支援について調査研究</li> <li>● 市内大学連携による地域づくりと活性化対策に関する調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■責任ある財政運営と財政基盤の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代放射光施設の整備促進と企業の研究部門集積にかかわる調査・研究</li> <li>●国家戦略特区や最先端のイノベーションを活用した競争力強化について調査研究</li> <li>●スーパーシティ構想実現への調査研究</li> <li>●JR 仙台駅や仙台空港、仙台港の更なる機能の強化・拡充に関する調査研究</li> <li>●魅力と賑わいにあふれる商店街づくりと、定禅寺、青葉通り、仙台駅前の再開発をはじめとする中心部の再生についての調査・研究</li> <li>●仙台の魅力発信と東北の交流人口の更なる拡大、県内外の都市との連携について調査・研究</li> <li>●東北観光復興対策交付金等の期間延長や財政のあり方の調査研究</li> <li>●国際級会議（学会）の誘致促進について調査研究</li> <li>●担い手の育成・確保と農地の集積、集約化による生産基盤強化に関する調査研究</li> <li>●付加価値の高い都市型農業づくりや後継育成等について調査研究</li> <li>●RPA 導入、利活用を通じた行政手続き、市民サービス、地域・経済活動のデジタル化を推進するための調査研究</li> </ul> <p>持続的に市政の課題に対応し、責任ある財政運営と強固な財政基盤の確立に向けた税収増につながる長期ビジョン事業等への予算配分や、国に対しても、財源確保に努め、国からの税源移譲や課税自主権の強化などに対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地方交付税等の税源確保に向けた国へのはらたきかけと関連した調査研究</li> <li>●事業の厳選化や民間活力の活用などを通じた財政健全化について調査研究</li> <li>●徴収体制の強化による市税、国民健康保険料等の収納率向上について調査研究</li> <li>●公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化等の推進について調査研究</li> <li>●地方分権や大都市の財政需要等に対応した税源移譲の推進に関する調査研究</li> <li>●マイナンバー制度の活用促進と効率的な活用についての調査研究</li> <li>●国庫補助金等による重点的な財源支援に関する調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■ 未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり</p>	<p>仙台市が未来に向け、地域が持つ力を最大限に発揮することのできる環境づくり「杜の都」の環境や文化、都市インフラの充実に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「杜の都」の環境保全や「グリーンフェア開催」等、緑あふれる街づくりの推進について調査研究</li> <li>● 市有施設の長寿命化計画を進める為の維持管理等に関する調査研究</li> <li>● 伊達文化を生かした都市の魅力づくりについての調査研究</li> <li>● きめ細やかな地域づくりの取り組みへの支援強化について調査研究</li> <li>● 道路や交通、下水道、橋梁、無電柱化など市民生活を支える都市インフラの老朽化対策と充実について調査研究</li> <li>● 市民の目線を取り入れた本庁舎並びに議会棟の建て替えに向けて調査研究</li> <li>● 文化の振興、拠点となる音楽ホールの早期建設について調査研究</li> <li>● 温室効果ガス削減に向けた環境保全の推進とリサイクル等の資源化対策の調査研究</li> <li>● 人口減少地域に対応した公共交通網整備に関する調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和 3 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 3 年 8 月 26 日～令和 4 年 3 月 31 日）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 岡 部 恒 司



政務活動テーマ	活 動 内 容
○高齢者社会の福祉対策	一人暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者の増加により、地域特性にあった生活支援サービスや見守り等サービス提供の必要性を調査
○地域（生活）道路の整備	大規模震災・津波以外の大雨・台風等による災害対策、廃止された都市計画道路地域や危険区域内の安全安心確保のため、道路・歩道整備の必要性等の調査
○地元企業育成	地元企業の具体的な要望、支援策等の調査
○防災減災先進都市	被災地検地として被災他都市への支援策、全国へ情報発信の方法、意識調査
○道路施設の老朽化について	仙台市内道路・橋梁・老朽化の現状・具体的な対応策、今後の計画等を調査研究
○新設道路整備	都市計画道路整備計画の現状・進捗、今後の具体的な取り組み、新設の可能性、国の対応と考え方
○東北 77 市連携推進	東北連携による経済・観光・防災減災等の取り組み現状、今後の計画、課題、東北人の意識調査
○防災協定	他都市及び議会と協力、情報交換しながら、推進・提言
○シティセールス	東京事務所をシティセールスの拠点にするための課題、可能性、必要性の調査
○分煙の更なる推進	喫煙するひと、しない人の共存を目指す施策の研究  ☆令和 3 年 4 月 1 日～8 月 26 日分として提出しました活動報告書項目同様、継続的に調査研究 ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和3年度政務活動報告書（会派内用）

（令和3年8月27日～令和4年3月31日）

会派名 自由民主党

議員名 庄司俊充



調査・研究テーマ	活動内容
<p>新型コロナウイルス対策</p> <p>自然災害に関する課題</p> <p>東日本大震災に関する課題</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻に際して派生する課題（防衛、食糧、電力調達、他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域経済の振興、産業振興政策</li> <li>・ 地域のふれあいと活性化</li> <li>・ 自己、地域、行政、民間の防災対策について</li> <li>・ 未来に向けた災害時の対応（教育の中や地域などで受け継いでいく教訓）</li> <li>・ 障害者の社会参加の就労支援体制</li> <li>・ 介護予防と介護支援の充実</li> <li>・ 高齢者の健康づくり（生涯学習や市民農園など）</li> <li>・ 子育て支援施設、制度の充実</li> <li>・ 災害時の対応（要介護者、未就学児等支援が必要な方への在り方）</li> <li>・ 環境への負荷の少ない都市づくり</li> <li>・ 水、緑保全の対策推進</li> <li>・ 個性ある新産業の創生</li> <li>・ にぎわいや豊かな生活文化をつくる産業の振興</li> <li>・ 屋上緑化</li> </ul>	<p>新型コロナウイルスがまん延し、世界中の経済が疲弊している中、ロシアによるウクライナ侵攻が令和4年2月に起こり、原油高騰に関連し物価の上昇に伴い経済支援金に関して、地元商工会等や地元企業団体などからも相談要望を受け出来る支援等の相談対応をした。</p> <p>引き続き、相談要望に関連した取り組みを当局へ積極的に働きかけ、先進的事例を取り組む他都市等の施策を調査する。</p> <p>地域や各種団体への聞き取り・現地調査や陳情要望等に関しても当局他、議会や委員会の質問等で行った。</p> <p>研究テーマについて市民や各種団体への訪問調査、懇談会の開催や参加を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている</p>


- ・泉ヶ岳の活用のあり方
- ・産業誘致
- ・休耕田の利活用、市民農園の拡充
- ・市街地の賑わい活性化
- ・人にやさしいまちづくりについて
- ・農業振興策について
- ・新産業創出について
- ・観光振興について
- ・地方創生、一億総活躍社会実現に向けた取り組みについて
- ・地方創生を見据えた今後の地域経済活性化事業の展開について
- ・仙台市内パークゴルフ場の新設整備
- ・農地の有効活用と農と食の連携
- ・スポーツツーリズム
- ・いじめ問題
- ・商店街活性化事業について
- ・外国人観光客誘致について
- ・まちの魅力の発信、広報について
- ・2025 問題
- ・高齢者や子供を地域で見守る環境づくり
- ・8050 問題
- ・引きこもり、自死問題
- ・ゴミ減量
- ・地元産木材の積極的な活用
- ・音楽ホール、文化施設について
- ・その他

※ この報告書は収支報告書に添付してください。



令和 3 年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 菅原正和 

政務活動テーマ	活 動 内 容
犯罪被害者基本条例の制定	他都市の状況を調査し条例制定の基礎資料とする神戸市の犯罪被害者条例の概要と制定後の調査
仙台市震災メモリアル施設整備	人と防災未来センター。視察により、本市のメモリアル施設建設の参考とするために視察を行った
リニアコライダー建設推進	建設推進のための共同委員会の立ち上げをし、建設を推し進める会議に出席し建設を推進していく
遺品整理業者の許可制度	先進事例の福岡市の認定業者及び福岡市役所環境局に許可の概要と効果について話を伺い、今後の本市の対応について参考とするため
議員勉強会	議員勉強会を受講し、今後の議員活動、質問事項の参考とするため
他都市の議会等	名古屋市の円形議場を視察し、新庁舎建設の参考とするため

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和3年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 高橋 卓誠



政務活動テーマ	活 動 内 容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスに関する事業及び各種支援策について</li> <li>・観光施策について</li> <li>・県施設との連携について</li> <li>・保育環境について</li> <li>・アフターコロナ後の経済対策について</li> <li>・家庭ごみの課題及びごみ集積所の環境について</li> <li>・デジタル化について</li> <li>・音楽ホール及び施設の価値創造に関する各施策について</li> <li>・大手門及び歴史資源の活用について</li> <li>・犯罪被害者支援について</li> <li>・貧困家庭支援について</li> <li>・しょうがい者に関する各種施策について</li> <li>・再エネ事業に関する諸問題について</li> </ul> <p>他、仙台市政全般に関する各種事業、施策について調査、研究を行う。</p>	<p>市政に関する市民からの要望・意見を聴取し、現地調査、実態調査を行い、関連局局長、部長、課長や職員と懇談し、また、議会、委員会、調査特別委員会等で発言し、問題解決に努める。</p> <p>新聞、インターネット、専門書や資料、また有識者からの意見聴取を行い研究し、仙台市政に生かせる施策等を提言、提案を行う。</p> <p>問題事例や施策については他都市事例も現地調査や実態調査も行う。</p> <p>仙台市民の安全で安心な暮らしができ、心から豊かになれるよう、市民と行政の橋渡し役を行う。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和3年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 内藤 良介



政務活動テーマ	活動内容
○側溝清掃による冠水対策	○側溝清掃による浸水被害軽減のため、市の予算に負担をかけずに行う方法について市民の皆様や地元中小企業の方々との意見交換を行い、太白区役所と協力してこのシステム構築の為に企業・町内会・区役所と意見交換や現地調査を行った。
○地域交通の必要性について	○現在地域交通のない地域において必要としている地域があるか市民の皆様と意見交換と現地調査を行った。 ○現在地域交通を導入しようとしている市民の方と意見交換・現地調査を行い、問題を認識。
○若者の地元定着について	○地元大学生とコロナ禍の状況も含めた地元定着の問題について意見交換を行い、要望等を伺った。 ○地元中小企業の方とコロナ禍の状況も含めた新規雇用の問題について意見交換を行った。 ○経済局と地元大学生と仙台のさらなる若者の定着について意見交換を行った。

○自転車事故問題について	<p>○地元大学生と自転車事故問題解決について意見交換を行い、現地調査を行った。</p> <p>○杜の都の自転車プランの改定にあたり特に問題となっているヘルメット着用の必要性について問題となっている事の調査を行った。</p> <p>○警察と自転車事故の問題について本市で不足している事等について意見交換を行った。</p>
○いじめ問題について	<p>○いじめ問題を解決していくにあたり、本市の35人以下学級の事や、どのようにしたらいじめの問題解決につながるのかを、専門にしている方との意見効果や現状の問題について調査研究した。</p> <p>○いじめ問題の解決において、いじめられる子を減らす為にはなにが問題となるのかを、いじめにあった方等と意見交換を行った。</p>
○地域問題として	<p>○地元の道路状況等の問題点について市民の方と意見交換を行った。</p> <p>○不法投棄が行われている場所の現地調査を行い、地域の方々と意見交換を行った。</p>
○コロナ禍の対応について	<p>○市民の皆様との現状問題等の意見交換を行った。</p> <p>○経済回復に向けた問題等について意見交換を行った。</p> <p>○コロナ禍の状況における学生の問題について学生の方々と問題点解決に向けた意見交換を行った。</p>
○防災について	<p>○マイタイムライン活用に向けて地域の方々と意見交換を行った。</p> <p>○教職員のかたや協力頂いている企業等と子供たちの防災教育について意見交換を行った。</p>

# 令和3年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 千葉 修平



政務活動テーマ	活動内容
○メガソーラー規制条例	○仙台市太白区に建設予定のメガソーラーについて、様々な角度から問題点を検討。この結果、将来的に大量に発生するパネルの廃棄問題、外資による土地取得問題など、今後の日本の在り方に大きな影響を与えかねない現状を再確認した。 ○条例を作るにあたり、全国各地の条例を調査。具体的な条文に落とし込んだ。
○先人教育の在り方	○本市の教育の足りない点として、自身の故郷への敬意、郷土愛の教育が不足していると考え、この解決策の一つとして、先人教育を調査した。この結果は、決算委員会で取り上げた。
○大規模な谷埋め盛り土調査について	○団地の老朽化、特に大規模な谷埋め盛り土について調査、6月の一般質問で取り上げ、早急な調査と対策を求めた。この数か月後には、熱海で違法盛土の土石流事故が発生するなど、盛り土の問題がクローズアップされた。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>○北朝鮮拉致問題の教育、啓発活動について</p>	<p>○北朝鮮による拉致問題解決のため、ブルーリボン運動と若者世代への啓発、教育活動の強化について調べ、12月定例会にて提案した。ブルーリボン運動については、市長以下、多くの市幹部がブルーリボンバッジをつけて頂き、理解を示していただいた。</p>
<p>○学校施設の内装木質化</p>	<p>○森林環境譲与税を使い、長寿命化が進む学校施設の内装を木質化し、過ごしやすい環境づくりのための配慮をするよう、予算委員会で提案した。</p>

# 令和 三 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 **自由民主党**

議 員 名 猪又 隆広



政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>○仙台市の信頼度調査の実施</p>	<p>・仙台市がライバル都市として位置づけている福岡市では、平成 20 年度より福岡市政への信頼度を実施している。平成 22 年度の調査では、「信頼できる」「どちらかといえば信頼できる」の 2 つ合わせた数字が 41.0%だったが、令和元年度調査では 79.8%、令和 2 年度の調査ではコロナ禍にも関わらず 83.9%と過去最高を更新し続けている。本市でも「本市の課題」に関するアンケートを複数実施しており、行政運営上の基礎資料として活用しているが、例えば福岡市のように、「仙台市の行政運営の取り組み」といったアンケート項目の中に、「窓口サービスの向上」や「市民とのコミュニケーション推進」などの満足度や重要度を聞くとともに、その中の項目の一つとして、「市政への信頼度」を追加することで、これまでに個々に市民から評価やご意見をいただいていたものと合わせ、総合的な仙台市の評価を数値化することで仙台市政全体の評価の「見える化」に繋がることから信頼度調査を実施すべきと考える。</p>
<p>○アフターGIGA スクールと本市の課題</p>	<p>・コロナ禍の中で、社会のデジタル化が進むとともに、国の GIGA スクール構想のもと、教育のデジタル化の加速も進んでいる。自治体によっても格差もあるが、本市の場合、学校の中での利用の際の各校でのネットワーク速度が十分に保たれているのか、現状の把握と回線の安定度は重要な視点となる。自治体間格差もさることながら、学校間格差も出始めている。特に、各校の端末活用度について教育局として把握することは重要であり、また対策を施していく必要がある。また、学校の子どもたちはもとより、教職員への支援も欠かせない。特に、ICT 支援員の充実配</p>

置は喫緊の課題である。支援員を含め環境が整うことで、子どもたちの情報活用能力に教職員も力を入れることができる。新学習指導要領総則には、情報活用能力は各教科等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくと位置づけられている。各教科等の学習成果に結びつかせる前に、まずは徹底した情報活用能力の育成は急務である。情報活用能力が本市の児童生徒にどの程度身につけているかも把握する必要がある。子どもたちの情報活用能力と並行して、教職員の情報活用能力も高めなければいけない。教員の研修の充実も必要である。情報発信も重要である。本市では、昨年「仙台市における情報教育推進 2021」を作成し、仙台市教育委員会の情報教育に関してのビジョンを公表した。そういった中で、教職員はもとより、保護者に対してもご自身のお子さんがこういった情報端末を活用し、これからの時代を生き抜くための情報活用能力を養っているということを理解してもらわなければいけない。現状、個々の学校の発信に任せている中で、仙台市教委のWeb サイトでも専用のサイトを立ち上げるなど支援をしていかねばならない。国がこれだけ巨額の予算を付けた事業を本市の一つの課で他の仕事をやりながらでは、今般のGIGA スクール構想は成功なしえない。GIGA スクール推進課のような担当課を設けるべきである。コロナ禍で大きな不安となったのは、臨時休校による学校での学びが止まってしまうことだ。双方向でのオンライン授業ができるような環境整備のため、これまで時間を費やしてきたが、常日頃から端末の持ち帰りは必須である。今後各校での端末利用が進み、持ち帰りなども恒常化してくると、学習以外の生活や健康に関する様々な個人データが蓄積されることも想定される。これらの情報を活用することで、教育における最重要課題でもある、いじめ防止や不登校対策にも活かすことができる。そのためにもすべての学校が一斉にできるようになるまで活用しないという待ちの姿勢ではなく、できる学校から始めていくという攻めの姿勢で、オンライン授業の成功事例や端末の効果的な使い方を学校連携で共有していくことが重要である。



○教育端末としての iPad 活用

・本市では、平成 29 年度から 4 年間で本市の市立小中学校に一枚あたり約 40 台の iPad を導入している。iPad はキーボード入力に慣れていない低学年での活用やカメラ機能が充実していることや直感的な操作性の良さなどから、子どもたちに合わせた使い分けをしている自治体も増えている。また、特別支援学級や特別支援学校、はぐくみ教室や通常学級においても特別な支援を必要とする子どもたちにとっては特別支援向けのアプリが豊富にあり、重宝しているとの声を現場からも聞いている。すべての子どもに配慮し、しっかりと整備することが重要である。

○夜間中学校の整備について

・夜間中学校は、高齢の方や不登校などで満足に教育受けられなかった方や、日本で生活する外国人を受け入れる役割として、重要な位置づけを担っている。東北に公立夜間中学校は 1 校もなかったわけだが（令和 3 年 9 月現在）、民間で取り組みをなさっている団体で「仙台自主夜間中学」がある。今後、公立の夜間中学校が新設されることにより、仙台自主夜間中学とお互い学習者のニーズを活かす取り組みを行うなど、うまく連携していくことでいい相乗効果が生まれると考える。

○広瀬川の越水対策と県への要望

・近年頻発する集中豪雨では、河川の氾濫や土砂災害による被害などその被害は拡大している。そのような中、本市を流れる広瀬川では土砂が堆積し川の側面や中央部に中州が存在します。この中州によって、広瀬川の流下能力の低下を招いており、上流から流れてきたゴミや樹木が堆積し、年々この中州の面積が拡大している。県によって計画のもと、河道掘削が行われていますが住民の不安は時間とともに増している。特に、広瀬橋と宮沢橋の間にある中州は年々拡大しており、数年前まではほとんど目立たなかった中州が木々が生い茂り、川のだ真ん中に鎮座する立派な中州が存在している。県へ早期撤去を要望するとともに、市民の不安払拭のために行動してもらうことを強く求めた。

○本市の広聴業務

・本市の広聴業務は大きく広聴事業と相談事業とその他の広聴事業の3つに分かれている。特に本市における広聴業務で一番大きなものが、平成3年から始まった市政モニターである。本市の場合は、市政アンケートモニターと、市政インターネットアンケートモニター合わせて200名に委嘱を行っているが、果たして200名というのは適正であるのか。本市の人口規模やアンケート統計の精度を考えるとやや少ないように感じる。そもそも「本市の広聴相談業務に関する調査」を市政モニターに対し実施したところ本市の広聴相談業務の内容をよくわからないと大多数が意見として述べている。本市のLINEや市政だより等を活用し、広聴についてもっと知る機会を設けるべきである。

○交通安全総合対策について

・交通指導隊は昭和62年より条例に基づき、仙台市の非常勤嘱託職員として位置づけられている。被服や装備品等も公費で作るわけだから、長い期間やってもらいたいと考える当局側と現役世代はなかなか仕事との両立の中で難しいという大きな課題を抱えている。隊員確保のためにアタックリスト等を設けることや分隊の垣根を越えて声かけをしていくことが重要である。新規の隊員が辞めない取り組みも必要。実態に伴った定期的な研修の充実や、県警や各地区の指導隊長による定期立哨時の指導や服装チェックなど、各分隊の隊員のやる気と能力アップを目指すことが、隊員の継続や拡大に繋がると考える。交通事故をさらに減らす努力も必要である。第11次仙台市交通安全計画のもと取り組んでいるが、特に危険なのは大きな交差点である。宮城県内で最も多くの人身事故が発生した交差点は若林区の国道4号線仙台バイパス六丁目。県警のほうで対策として、2月に直進専用の表示を設ける信号機の表示改良

、また仙台河川国道事務所でカラー舗装や路面標示、植栽の剪定を行っているが、国道なので本市として道路改良自体は国への要望事項にとどまるが、本市としてソフト面で支援をしていかねばならない。また、信号がない横断歩道

○児童館における子どもの安全確保策

での車の一時停止状況の改善は必要である。JAF との連携等の取り組みは評価できるが、数字に表れてこない。長野県のように他都市の事例を見習うとともに幼少期からの交通教育は必要である。警察庁でも手上げ横断を全国指導すると決めていることから、本市としても積極的に手上げ横断を推奨すべきである。

・近年、不審者によって私たちの安全安心が脅かされています。学校での安全対策は徐々に整備されてきているが、子どもたちの居場所の一つでもある児童館・児童クラブの安全対策も急務である。本市の保育所の不審者対応マニュアルによると、「防犯カメラやインターホン等で施設の状況に応じて管理体制の整備を行う」とあるが、設置状況を拡大すべきである。また、不審者が侵入してきた場合、逃げ込む場合の各部屋への内鍵の設置。刺股や催涙スプレー等児童館の防犯用品の充実。警察官立寄所のステッカーの設置、何より子どもたちや児童館職員の視点に立った安全対策を今後も講じていくべきである。

○児童館のインフラ整備

・仙台市の児童館も「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき改修を行っている。ただ、早期に対策が必要な箇所、例えば遊戯室の床など場所によってはささくれができており、実際に南材児童館ではけがをすることもあった。改善の必要性を感じている。児童館の Wi-Fi 整備も必要である。国の GIGA スクール構想に伴い、児童生徒は一人一台端末が配布されている。放課後の居場所の一つでもある児童館で勉強や宿題を行う児童生徒も出てくると考えられる。早期に設置すべきではないか。

○GIGA スクールの次のステップに向けて

・クロムブック端末導入から 9 カ月。様々な学校を訪問し、見えてきた課題も多い。文科省は児童生徒に身につけさせたい情報活用能力の一つにキーボード入力をあげている。学習の基盤として各教科における深い学びを支えていくキーボード入力が、各学校でどの程度できているのか調査をする必要性を感じる。また、クラウドを活用しスラ

イドを 1 人または共同編集で作成できるかというスキルも求められる。スライドを作れるようになると、人前で話をするということにもチャレンジできるようになる。これからは PBL 型、いわゆる自ら課題を発見し探求していく学びが重要である。埼玉県戸田市のようにプレゼンテーション大会を実施し、学びのアウトプットの場として、子どもたちが社会課題の解決案を提案する場を本市としても準備すべきだと考える。ICT 活用は教職員にとっても必須スキルとなる。これまでの経験による授業スキルと年齢に関係なく ICT を活用できるようになれば、これまでは考えもしなかった授業展開が可能になると思う。

○本市の今後のドローン活用

・急速にドローンを活用した自治体が増えている。産業分野別にみると、農業、土木建築、点検、物流、防犯といった分野では今後更なる利用拡大のためにビジネス界だけではなく自治体でも実証実験が進められている。本市でも津波避難広報用ドローンなど防災・減災での活用に力を入れている。いざ災害発災時に行政でできることは限られる。常日頃からの官民協働が重要になってくる。民間との連携協働は進めていく必要がある。ドローンは今後「レベル4」。つまり、有人地帯つまり第三者の上空を自動航行技術などを用いて、目視外での飛行ができるようになる。国との連携強化は必要である。本市ではスーパーシティ構想にも立候補をしている。今後の活用の中で、ドローンを活かしたまちづくりも必要になってくると考えている。

○フードバンク支援、フードドライブ活動

・本市にあるフードバンク団体との連携や支援を拡充や継続的な支援が必要である。本市で行っているフードドライブは食品ロスの側面が強いが、本市家庭から出る生ごみに占める食品ロスの割合は全体の 34.5%で量にすると約 1.8 万トンにもなる。内、まったく手つかずの食品が約 3 千トンにもなると記載してある。フードバンク仙台で提供される食糧は量にすると年間約 50~60 トン。廃棄される量の 2%にも満たない現実がある。フードドライブでは食品を入れるボックスの設置を行っているが、地域的な偏在が

○中心部商店街以外の商店街支援

大きい。コンビニエンスストアなどにも積極的に置いてもらうべきである。環境局だけで行おうとするのではなく、企業側への働きかけという側面では経済局との連携も必要となる。

・コロナ禍の影響で、多くの事業者が疲弊している。とりわけ影響が大きい中心部・国分町エリアはもとより中心部以外の商店街も同様に苦しんでいる。そのような中、このコロナ禍で商店街単独ではなく、近隣商店街と連携する取り組みを行っている商店街もある。こういった商店街連携を進める商店街にはもっと支援をしていくべきである。また、令和4年度からは商店街等買い回り促進キャンペーンというデジタルを活用した支援も行う。自身の商店街のイベントと組み合わせることでさらなる相乗効果を見込める事業になっていることは評価できる。ただ、デジタルが苦手な方や高齢者にもわかりやすい周知は大切になる。

○陸奥国分寺と寺社を活用したまちづくりについて

・若林区木ノ下にある陸奥国分寺・国分尼寺跡が整備されている。歴史的な価値が大変高い寺院であり、史跡に指定されて100年、隣接地にはガイダンス施設も整備されており、まもなく開館5年、伊達政宗公が陸奥国分寺薬師堂を建立してから415年を迎える。そのような節目のさなか、新年度「全国国分寺サミット」が仙台市で行われる。関係首長だけではなく、陸奥国分寺ファンはもちろんのこと、多くの市民の皆様や県外客へも史跡指定100年の関連イベントや陸奥国分寺を理解してもらう機会にしてほしい。また、今後寺院を活用したまちづくりも必要となってくる。政教分離で難しい側面はあるが、現代では、御朱印集めやパワースポットとして気軽に足を運べる環境になっている。行政としても観光の側面からも応援していてもいい。行政が進める様々な施策の中に文化財としての寺社との関係をパッケージ化することによって本市のまちづくりや観光にももっと活かせる部分があると思うし、本市の歴史的価値のPRにもなる。

○ICT教育の推進、教育委員会のガバナンス

・国のGIGAスクール構想におけるICT支援員の拡充、授業支援ソフトや自動集計システムといった教員の多忙化解消の取り組みは評価する。特にICT支援員に関しては、令和3年度予算ではたったの440万で一人分の人件費だったが、新年度は3億7千万と80倍の予算がついている。ただ配置するだけでは意味がない。現場の先生方が安心して端末を活用できるようにするためのICT支援員にならなければいけない。教育委員会のガバナンスについても考える必要がある。今回のオミクロン株に対する教育委員会の対応について。市教委として学校現場に保護者にどんなメッセージを発信してきたのか。やってはいけないこと、感染しないことの注意やお願いだけ。1月下旬は本市でも臨時休校が一気に増えた、多い時では12校。今回の件で、市教委としてのメッセージをしっかりと子どもたちや保護者、学校関係者や市民に伝えていくべきだと強く感じた。他都市のように、教育長の定例記者会見を実施すべきである。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和3年度政務活動報告書

(令和3年8月27日～令和4年3月31日)

会 派 名 自由民主党

議 員 名 渡 辺 博



政務活動テーマ	活 動 内 容
○財政	○地方財政と政府政策との関係性、「新三本の矢」地方創生広域連携・公共施設の集約化・複合化、歳出の削減効果
○経済活性化	○公営企業の効率化 ○市債の独自発行の可能性
○復興の取組	○自治体の経済政策の比較検討、本市の採用すべき政策の調査 ○外国資本の導入の可能性
○まちづくり	○国と自治体との関係、官民連携の在り方調査
○子育て支援	○人口減少とまちづくりに関する調査 ○市民協働の可能性と陥穽
○子育て支援	○子育て支援制度と自治体行政 現行制度の概要と新制度の概要の関連性、利用者側から見た新制度の在り方、市町村議会の課題と事業計画の在り方、乳幼児医療制度の充実 ○切れ目のない子育ての検証
○議会改革	○地方分権改革と地方議員の地位、議員の報酬の在り方、議員の役割と活動の活性化 ○議員権能の強化と市民福利の向上
○防災危機管理	○地方議会の役割、東日本大震災と議会、危機管理のフェーズ、事前対策、復旧時の対応、防災対策基本条例(継続)について、ミサイル対応、国民保護法と自治体 ○震災時の議会の在り方の検証
○議会改革	○議会の政策立案機能、公職選挙制度の研修と充実 ○市民の議会理解の促進と権能の拡大
○高齢者政策	○高齢者施設における CAPP(動物介在活動)の効実態調査、仙台市の政策への実現性の調査 ○減少傾向にある老人クラブの活性化策調査、地域貢献 ○高齢者の社会参加

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○図書館行政	○利用活性化政策、宮城野図書館利用実態調査、仙台メディアテーク図書館視察、メディアテークの検証と今後の可能性 ○蔵書の管理と市民要望への対応
○市有地の有効利用	○市有地の有効利用と施設の複合化の効果と問題点、市民サービスの在り方（公園の利用）
○公文書の管理と利用	○先進都市公文書館視察。基礎調査の上での本市での活用 ○公文書の管理と活用
○高齢者と生涯スポーツ	○ダンス、合気道、ソフトテニスにおける高齢者の実態調査と意見聴取、政策立案者との協議と実践
○教育	○教育再生に関しての方策調査、標準学力検査の検証と活用、 ○教職員の役割の認識と実践 ○青少年の健全育成、地域協力の確保策の検討
○自治体予算の在り方	○予算の考え方、歳入歳出のポイント、財政診断のノウハウとこれからの自治体財政運営について継続調査
○政務調査費	○政務活動費の再検証と制度の在り方、関連条例の見直し等 ○評価と充実
○地域包括ケア	○地域包括ケアシステムの市民理解と行政の役割 認知症対策調査、地域団体との連携の在り方
○国民健康保険制度	○国民健康保険制度の理解と今後の運用について ○制度運営の限界と可能性
○公園整備と利活用	○公園空白地における整備手法の研究 PPF ○時代の変遷に対応した公園法の在り方についての調査
○介護保険の現状と自治体の役割 (研修)	○自治体リーダーの在り方と評価 ○自治体財政分析 ○人口減少社会の地域経営
○自治体財政研究 継続	○日本の地域再生に於ける米国型 TPP の活用の可能性 ○グラスツールと社会変革 (日本改革のうねりとその役割) ○地方財政にやさしい環境政策
○経済活性化	○商店街の対策（振興、後継者育成、地域連携） ○新産業育成 ○未来型放射光施設の活かし方 ○起業と継続支援の在り方の研究
○安心安全のまちづくり	○防犯カメラ、一斉メールの運用の可能性。安心安全まちづくり基本計画調査 ○風水害対策の具体的取組みについて ○国土強靱化計画 ○国民保護法の実際の運用への取組み ○冬季の除融雪対策について ○警察署と交番の適正配置
○都市の在り方	○仙台型大都市像の構築の検証(継続)、特別自治市の実現の方策
○市民協働	○審議会の在り方、委員の選任の工夫



政務活動テーマ	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>○綱紀</li> <li>○人材育成</li> <li>○働き方改革</li> <li>○文化行政</li> <li>○新庁舎議会棟建設</li> <li>○仙台駅東地区開発</li> <li>○グリーンフェアに対する取り組み</li> <li>○大学後の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝礼の活用と効果 継続</li> <li>○公益通報制度の活用と運用について</li> <li>○始業就業時間の見直しと効果</li> <li>○仙台市職員の人材育成、研修の在り方</li> <li>○海外研修の充実</li> <li>○教職員を含めた働き方改革</li> <li>○伝統文化振興</li> <li>○演劇振興</li> <li>○クラシック音楽振興</li> <li>○ジャズを始めとしてポップスの市民生活に与える可能性と活かし方</li> <li>○音楽ホールへの検討、県市の役割分担</li> <li>○城下町仙台のブランド構築の可能性</li> <li>○新庁舎議会棟の建設検討、市民利用の可能性の検討</li> <li>○定禅寺通りと新庁舎の一体的開発と活性化についての考察</li> <li>○仙台駅東地区の総合的な活性化対策の研究</li> <li>○まちづくり協議会の活用</li> <li>○活動区域の拡大の検討</li> <li>○宮城県所有地との連携</li> <li>○仙台市の緑政の総括と今後の活用</li> <li>○仙台藩時代からの緑政の活用</li> <li>○グリネストシティ実現の可能性</li> <li>○産学官金連携</li> <li>○行政課題解決のための取り組み</li> <li>○仙台市職員の研修のための活用</li> </ul>

令和3年度務活動報告書（会派内用）

（令和3年8月27日～令和4年3月31日）

会派名 自由民主党

議員名 赤間次彦



調査・研究テーマ	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある都市づくり</li> <li>・障害者スポーツについて</li> <li>・障害者施設について</li> <li>・音楽ホールについて</li> <li>・市庁舎建て替えについて</li> <li>・地域ブランドについて</li> <li>・市消防団応援事業所制度について</li> <li>・都市整備</li> <li>・交通事業</li> <li>・相互交流事業について</li> <li>・いじめ問題</li> <li>・震災関連文書の公開について</li> <li>・認知症初期集中支援推進事業について</li> <li>・パークゴルフ場の開設・利用・整備、運営 経緯体、利用者の反応等の調査</li> <li>・地域交流まちづくりセンターについて</li> <li>・施設の指定管理と運営状況</li> <li>・幼児教育</li> <li>・シティセールス</li> <li>・インバウンド、アウトバウンド</li> <li>・選挙事務手続きについて</li> <li>・国際姉妹都市交流について</li> <li>・経済成長デザインの見直しと次期計画につ いて</li> <li>・2025問題</li> <li>・安心安全なまちづくり</li> <li>・高齢者の労働参加について</li> <li>・政令市の権限について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査</li> <li>・資料収集</li> <li>・関係者からの聞き取り</li> <li>・先進事例の調査</li> </ul> <p>研究テーマや、時事的な問題等について市民や各種団体への訪問調査、懇談会の開催や参加を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている</p>

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・付加価値の高い都市農業づくり</li><li>・地球温暖化対策</li><li>・企業誘致と雇用</li><li>・次世代放射光施設整備について</li><li>・学校施設内の整備について</li><li>・電力調達、電力契約について</li><li>・循環型社会について</li><li>・豊かな農業施策を確立し、食の安全について</li><li>・豊齢者・子育て・障害者の支援について</li><li>・市民待望の文化・スポーツ施策の充実について</li><li>・教育の充実について</li><li>・新型コロナウイルス対策</li><li>・医療提供体制について</li><li>・地域商店街の経済助成と活性化について</li><li>・公営企業の民営化や官民連携等について</li><li>・その他</li></ul> |  |
|---|--|

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和3年度政務活動報告書（会派内用）  
（令和3年9月～令和4年3月31日）

所属会派名 自由民主党

議員名 鈴木 勇治



政務活動テーマ	活 動 内 容
環境とごみ問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷低減策の充実の働きかけを行った。</li> <li>・家畜糞尿、食料品の食べ残し、農業生産物等のメタンガス化施設の普及、坪沼地区での可能性を調査した。また学校給食センター食用廃油の活用策を展開した。</li> <li>・適正立地の模索をおこなった</li> <li>・太陽光発電所事業の適正立地と活用</li> </ul>
高齢者介護基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の入所施設の整備促進を進める。</li> <li>・介護事業者の団体及び介護を続ける家庭等の訪問調査を行い、各事業者と連携の上、当局に要望活動を行った。</li> <li>・高齢者、障害者等の食事自立支援サービス事業の充実・・・事業者の調査を行い当局に改善を求めた。</li> <li>・適正立地の模索と安定経営と運営維持についてヒアリングをおこなった</li> </ul>
大都市制度の在り方及び地方都市の権限の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズに的確に応え、市民にとってより充実したサービスを提供していく為には、権限、財源をもつことが不可欠である。また早急な復興に向けては、スピード感も欠かせないこともあり、指定都市市長会で検討を進めてきた特別自治市を含め、新たな大都市制度実現に向けて市民の議論を喚起し積極的に取り組んだ。</li> </ul>
議会改革 ・開かれた議会のあり方 ・市議会の ICT 化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた議会の在り方についての進化について、また議会の ICT 化の進捗について、他市議会との情報収集、必要性の懇談を行った。</li> </ul>

<p>都市交通施策と基幹道路の安全確保 交通弱者対策と狹隘道路の安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全施設業協同組合との勉強会や懇談会を重ね現状と改善策を市当局に提言した。</li> <li>狹隘道路の改善について、土地家屋調査士の活用について同協会会員との勉強会に参加</li> <li>通学路の安心安全対策の徹底を求め、現場調査、学校や保護者のヒアリングなどを行った。</li> </ul>
<p>引き続き風水害と3.16地震の被害に関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国からの予算獲得と執行状況</li> <li>農業基盤の被害復旧</li> <li>道路等生活環境の復旧促進</li> <li>各種支援策の円滑な導入</li> <li>風水害時の避難計画と避難所の在り方</li> </ul>	<p>被害個所の調査、被害者からの聞き取りを行い、農業施設生活施設のいち早い復旧を求めた。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の蔓延に影響される中小零細企業の経営状況の影響</p>	<p>市民生活の自粛による経済影響が深刻となることから訪問ヒアリングを行った。今後の支援策などの意見を聴取した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時短協力支援金の適切な活用</li> <li>関連事業者支援の適切な活用</li> <li>中小企業等事業からの相談、意見把握、指導をおこなった。</li> </ul>
<p>生活環境の維持</p>	<p>コロナ感染予防対策による財源のひっ迫から本事業が取り残されることの無いよう、該当箇所の点検と調査をおこない行政側への働きかけをおこなった。</p>
<p>農業関係基盤</p>	<p>上記同様、コロナ感染予防対策による財源のひっ迫から本事業が取り残されることの無いよう、該当箇所の点検と調査をおこない行政側への働きかけをおこなった。</p>
<p>有害鳥獣対策</p>	<p>被害個所の調査</p>
<p>農業生産物の産地形成と販売方法</p>	<p>県内の他都市の状況を調査</p>
<p>仙日赤台病院を含む4病院統合移転</p>	<p>市民および有識者へのヒアリングをおこなった。 市民活動へ対する情報提供</p>

令和3年度政務活動報告書（会派内用）  
（令和3年8月27日～令和4年3月31日）

会 派 名 自由民主党  
議 員 名 西澤 啓文



政務活動テーマ	活 動 内 容
1. 観光施策について	コロナ後の国内外の観光客の仙台への誘客に向けての方策について調査・研究
2. スポーツ施設の整備について	民間活力導入も含め、更なるスポーツ施設整備を進めることで、市民のスポーツ活動をより活性化する方策について調査・研究
3. 中心市街地の再整備について	中心市街地の再整備に向けてビルオーナー等へのインセンティブを設けることでその促進を図る方策の調査・研究
4. 空き家対策について	現在特に大都市においてそのニーズが高まっている、入居予定者によるリノベーションを推進し、その有効利用を図る方策について調査・研究
5. 農業振興策について	農業振興に向けて、6次産業化への方策について調査・研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
6. 高齢者等の安全・安心の確保について	心身に不安をかかえる独り暮らし高齢者や重度の身体障害者の安全・安心確保策について調査・研究
7. 仙台港の利用促進について	仙台港の管理に本市がより積極的に関わることにより、この周辺への関連産業集積とそれによる雇用の促進を図る方策について調査・研究
8. 仙台空港の利用促進について	コロナ後の仙台空港の利用促進に向け、今後本市がどの様に関わることが必要かについて調査・研究
9. 物流拠点の機能強化策について	JR 貨物ヤード移転に伴い、その周辺も物流拠点としての整備を推進することで、東北の物流の一大集積拠点として機能するための方策について調査・研究
10. 新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染防止対策、コロナ禍及びコロナ後に向けての本市の経済対策

# 令和 3 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 3 年 8 月 27 日～令和 4 年 3 月 31 日）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 野 田 謙



政務活動テーマ	活 動 内 容
○ワクチン接種・感染症対策について	・重症化しやすいことが指摘されている変異株による感染拡大に即応できる体制づくり、円滑な接種の推進、情報提供等の調査、意見聴取等を行う
○仙台市の未来都市について	・SDGs 未来都市に選定されたことで、戦略的な政策推進やシティーセールスなど仙台市の特性や強みを積極的にいかせるよう調査等を行う。
○国土強靱化について	・震災からの復興、毎年のように起きる度重なる風水害、新型コロナウイルス感染症の対応など、安全・安心の基盤づくりが必要、より幅の広い災害を想定した取り組み等を調査研究
○高齢者社会の福祉対策	・土地の行動利用を図り、優良な市街地の再整備を行う有効な手法等及び来仙者の第一印象を決める歩道等の整備や“歩いていて楽しくなるような、仕掛け等、回遊性のあるまちづくり等、優良な市街地に再整備していくべく有効な手法などについて調査及び研究
○市内中心部の活性化について	・老朽建築物の割合が高まってビルの更新が進まない、建築費の高騰、賃料の低迷による収益性の悪化などに対する建替え促進助成金制度の具体的反応や反響等の調査
○施設の老朽化対策	・施設の利用状況、地域のバランス等を考慮した優先順位、施設機能が大きく低下する前に回収する計画保全等について調査研究
○人口減少を見据えた取組について	・東北のダム機能を有する施策。ハード面のインフラ整備、ソフト面にける経済・福祉。教育文化における魅力の創出等の調査研究
○街路樹の維持管理	・杜の都仙台の更なる進化のため、理想的なインフラの維持更新のあり方など、市民の安全・安心の確保を考慮し、街路樹の樹升の撤去など適正な維持管理について引き続き調査研究
○財政問題	・財源確保と財政規律の現状について調査・研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。



政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>○いじめ問題</p> <p>○待機児童対策について</p> <p>○子育て支援</p> <p>○その他市政全般</p>	<p>・スクールカウンセラー等、計画的な人員拡充、いじめ対策選任教諭・児童支援教諭の拡充について引き続き調査研究</p> <p>・保育基盤の整備推進、認可保育所の定員拡充、入りの枠の拡大等、引き続き調査研究</p> <p>・子育て支援制度と自治体行政、重要時医療の拡充に向けた調査。</p> <p>☆令和3年4月1日～8月26日分として提出いたしました活動報告同様、継続的に調査研究</p> <p>☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和3年度政務活動報告書

(令和3年8月27日～令和4年3月31日)

会 派 名 自由民主党

議 員 名 橋 本 啓 一



仙台市を取り巻く、少子高齢化・人口減少の展開という大変厳しい状況にあって、民間と行政が力を合わせ新しい発想で経済をはじめ福祉、教育、そしてまちづくりなど、持続的な発展を実現する責務があります。又、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、市民生活をしっかり守る取り組みを強力に推し進めることが急務です。

決意と覚悟を持ち、市民一人ひとりの声に対応した市政運営を実行する為に、下記の各般にわたる調査研究を行った。

政務活動テーマ	活 動 内 容
◆新型コロナウイルス感染症対策	
○感染拡大防止と医療体制の整備について	先の見通せないコロナ禍の中で医療機関と連携した、高齢者・障害者福祉施設等への徹底感染防止対策に関して事業者等と意見交換を行うとともに調査を行った。
○雇用の維持対策と財政支援について	飲食店や中小企業等の資金繰りや経営の支援や、給付金（支援金等）の拡充のあり方と国からの支援協力金の拡充や政令市への直接交付の効率化に関する調査を行った
○適切・迅速な情報発信について	具体的方針や支援策の迅速な情報の発信について調査を行った。又、具体的かつ多くの情報発信の取り組み方について聴取を行った。
○新型コロナウイルスの検査体制の充実策について	民間事業者と連携したPCR検査の確立をはじめ、感染者の行動歴など、万全な疫学調査体制づくり、積極的情報開示のあり方に対する調査を行うとともに調査を行った。
○医療・福祉の施策について	コールセンター体制の対応拡充、#7119電話相談体制の活用、ワクチン不足への対応等について、各都市の取り組み状況等を調査した。又、軽症者（自宅待機者）の早急な受け入れ体制の拡充と、自粛期間中の健康維持について聴取を行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○感染症への柔軟な対応について	感染症法等の道府県知事が持つ権限や運用について政令市への委譲などの取組等について調査を行った。
○経済・雇用支援について	サービス業や飲食業、宿泊業等への経営支援や地元中小企業への販路確保対策、又、テレワーク導入の為に助成制度、支援制度の適切な情報発信等について、調査を行った。
○教育、保育への支援について	AI型教材の導入をはじめとしてオンライン教育の推進、児童クラブにおける人材と安全の確保、在宅児童の勉強のあり方、保育所と認定こども園との連携のあり方について聴取・調査を行った。
◆市民生活の安全・安心の推進	
○地域コミュニティづくりと活性化対策について	高齢化が進展する町内会組織において、世代間の連携や交流を促進、地域の課題解決に向けた取組み、NPOや民間団体、PTA団体等の持つノウハウや経験生かした地域活動に結び付けるネットワークづくりの取組みについて調査を進めた。
○区役所のサービス向上の取組みについて	各区の独自性を活かすとともに、各区役所間の格付け導入した、更なる市民サービス向上の調査を行った。又、更にワンストップ窓口を活かした、市民にわかりやすい窓口業務の在り方の研究、調査を行った。
○消防団、交通指導隊の機能強化と支援について	消防団、交通指導隊の充足率アップ促進と小中学校のPTAや子供会育成会、オヤジの会といった地域関係団体との連携・ネットワークづくりの構築についての取組みの調査・研究を行った。
○地域の防犯・防災とその強化について	町内会をはじめ、体育振興会、子供会育成会、商店会、オヤジの会等が情報の共有を図り、その活動を補完し合うことにより、一体的な地域の安全・安心につなげる体制づくりの調査・研究を行った。
○更なる投票率アップと適正な選挙事務改善について	他都市の施策を参考にした、大学生・専門学校生・高校生を対象とした若年層の投票率アップへの対策と各種の取組みに向けた研究・調査を行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○自助・共助の仕組みづくりについて	中高大学生の力を活かした地域防災リーダーを育成し、地震や豪雨等の自然災害に備えた自主防災組織の体制強化について意見交換、調査研究を行った。又、女性の視点を踏まえた防災対策の調査を行うとともに、民間事業者と連携した帰宅困難者対策の充実について調査を進めた。
○海洋汚染への対応について	廃プラスチック類の排出抑制の取り組みと民間事業者の対応について調査を行った。
<b>◆社会保障充実の推進</b>	
○地域福祉の強化について	介護保険事業計画のもと、介護報酬や人材確保等の支援のあり方等について、調査を行った。又、地域包括ケアシステム構築に対応した包括支援センターの更なる機能強化策について各センターへの聴取を行い調査を行った。
○地域医療の充実について	市内における二次・三次救急の適正な配置バランスのあり方や、地域のかかりつけ医との連携強化の促進について調査を行った。又、市立病院におけるガン対策や一体的なうつ対策と、精神医療や小児救急医療と夜間こども救急診療所の体制・整備について、調査研究を進めた。
○障害者の就労支援について	障害者の資格取得支援や就労情報提供、民間事業者とのマッチング等、各種支援の効果的なあり方について調査・研究を行った
○介護サービスの充実について	介護報酬に左右されない介護サービス基盤の充実と体制づくりについて意見交換と調査を行った。又、認知症対策など介護予防事業や健康づくり施策拡充の調査を進めた。
<b>◆確かな教育体制と次世代育成の推進</b>	
○教育環境の充実支援策について	生きがいづくり、民間団体の不登校対策の支援拡充策と経済的に困っている家庭の中高生への「タダゼミ」等のNPO団体との連携による支援策について聴取・調査を行った。
○子育て環境支援の拡充について	幼児教育と保育の無償化に伴う財政支援のあり方や、子ども医療費助成への拡大的財政措置に関する意見交換を行い調査を行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○地域における子育て支援について	<p>児童センターと小学校における放課後子供教室のあり方、そして、地域資源（人材）を活かした子育て支援のバックアップ等に関する調査研究を行った。又、待機児童対策として、幼稚園から認定こども園のスムーズな移行や延長保育、休日夜間保育の充実、保育所の拡充に伴う人材と質の確保に向けた待遇改善、又、認定こども園への移行に向けた環境、整備に関連し、事業者への聴き取り、調査を行った。</p>
○子どもの貧困対策について	<p>経済的困窮家庭の子供の経済支援やその支援に取り組む NPO 等民間団体その受けん交換を行った。</p> <p>又、学習支援を実施している民間ボランティア団体についての情報収集や取組みについても意見聴取と調査を行った。</p>
○教育環境の整備について	<p>更なる少人数学級の推進や、いじめ問題の対策強化と特別支援教育の充実、不登校対策について意見聴取・調査を行うとともに、未就学児に対する幼児教育の充実に関する調査研究、学校支援地域本部の対象校拡大と不登校対策に関連したスクールソーシャルワーカーの強化について研究調査を行った。更に、ICT を活用した教育環境づくりについても民間事業者との意見交換を行った。</p>
○いじめ対策について	<p>いじめ対策専任教諭の活用方法の検証、フリースクール等の取組みや特別支援コーディネーターの適正配置、又、特別支援教育の更なる推進に関する調査研究を進めた。</p>
◆地域経済の活性化の推進	
○アフターコロナを見据えた経済観光対策について	<p>東北の核としての仙台市の役割と広域連携・交流を踏まえた取組みや誘客促進策、又、将来を見据えた税制、財政のしくみづくりについて、有識者等からの意見聴取し調査を行った。</p>
○デジタル化に向けた実施支援策について	<p>マイナンバーカード普及促進と活用による手続きの効率化やデジタル化の基盤整備の支援、ICT 教育の推進に関する意見交換を行うとともに、調査を行った。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○地域経済活性化に向けた経済政策	東北放射光施設活用による活性化策や東北圏域内における観光・経済交流の連携によるイノベーション都市実現に向けた取組に関する調査を行った
○中小企業の体力強化について	中小企業の抱える資金繰り等の課題や販路拡大、それらニーズに対する支援のあり方、更には産業振興事業団等との積極的な連携について、意見交換会を行うなど検証と調査を行った。
○農業施策の振興等について	高齢化の進行に伴う農地の耕作放棄地対策や後継者不足に対応した人材育成策、又、農地の集約、市民農園への転用など、現状を踏まえた課題解消に向けた、意見交換会を行った。
○賑わいと活力のある経済の活性化について	国家戦略特区の活用や、在仙大学間の連携、都市の競争力強化策や定禅寺通りと仙台駅前の再開発を踏まえた市中心部の活性化について（地下街の検討を含め）調査研究を進め、交流人口拡大等についての意見聴取、調査を行った。
○広域連携と観光交流拡大について	アフターコロナを見据えた東北圏域の広域的連携強化や仙台空港、仙台港の積極的活用によるインバウンド、アウトバウンドの一体的な推進について、調査研究を行った。
○若者への就労支援について	若者へのキャリアカウンセリングを行う「若者サポートステーション」の利用促進や若者への情報提供などを行うジョブサポーター強化の調査研究を行った。
○深刻化する介護福祉分野での人手不足対策について	即戦力となる外国人の受け入れを期待する福祉関連事業者からの意見を聴取するとともに、外国人研修生のあり方やその取組みについて調査を行った。
◆未来への魅力あるまちづくり	
○公共交通の利便性向上と利用促進について	市中心部の渋滞解消を見据え、地域ごとに異なる課題のあらい出しと効果的なバス、地下鉄の連携等やIC乗車券イクスカ等を活用した活性化策について調査、研究を進めた。又、タクシー事業者等が取り組む地域循環バスの有効性の検証や活用について、調査研究を行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○地震、豪雨への対策について	頻発するゲリラ豪雨や浸水当への取り組みと対策について、民間事業者のノウハウを活かすための聴取を進めた。
○道路、橋梁、トンネル、公園等の長寿命化対策について	老朽化が進む道路関連施設の適切な長寿命化の取り組みについて研究、調査を行った。又、長寿命化強化を活かす財政的強化策としてネーミングライツ等の積極的導入の意見聴取を行った。
○市郊外部のまちづくりと空き家対策について	進行する人口減少や高齢化対策として本市郊外をリバースモーゲージ（住みかえ）や空き家の有効活用と不動産業界団体との意見交換会や行政との連携協力のありかたについて調査研究を進めた。
○文化施設の充実について	文化振興の拠点となる音楽ホールの宮城県との連携や早期建設に向けた課題のあらいだしと先進地の取り組み事例等の調査研究を行った。
○都市計画道路の見直し後の整備について	予定する既存道路の早期の整備と廃止予定の先行取得用地の有効活用等について調査研究を行った。
○街路樹の適正な管理について	市内各所に見られる根上りの対策強化と老化した街路樹の更新のあり方等、安全向上の取り組みについて調査研究を進めた。
○市街化調整区域の現状について	市街化調整区域における建築違反状況の調査を行うとともに、地域の実状に応じた支援のあり方について調査を行った。
○税の視点を踏まえた空き家対策について	空き家対策への取り組み状況を調査するとともに、固定資産税や都市計画税の課税の取り組み、市民への情報発信策について聴取を行った。
◆健全な財政運営と財政基盤、そして行政改革	
○責任をもった財政運営について	国からの税源移譲や課税自主権の強化をはじめ、本市の財政状況を見極め、事業の源泉化や民間活力の活用を通じた財政健全化に向けた調査研究を行った。
○行財政改革の一層の推進と市議会の活性化について	公務の民間委託の更なる推進や市役所体質の改革、コンプライアンス遵守徹底の為の意見交換、各区役所の土、日開放や平日の窓口業務の時間延長等の拡充についても調査研究を進めた。又、公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化の推進について調査を行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和3年度務活動報告書（会派内用）

（令和3年8月27日～令和4年3月31日）

会派名 自由民主党

議員名 加藤和彦



調査・研究テーマ	活動内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症の再拡大の防止と収束に向けた対策</li><li>・中小企業支援対策</li><li>・アフターコロナを見据えた経済対策</li><li>・東北連携、仙山連携の強化</li><li>・豪雨、防災対策</li><li>・教育環境対策</li><li>・農業振興</li><li>・有害鳥獣対策</li><li>・区役所機能強化</li><li>・その他</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域街づくり</li><li>・西部地域仙山連携強化</li><li>・郊外型都市構造の強化</li><li>・地域、町内会、各種団体</li></ul> <p>仙台市域内外における地域活性化対策など、現地調査、ヒアリング、ネットなどを行い活動。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。